

浴室カウンター パコット

取扱説明書

この度はフクビ製品「浴室カウンター パコット」をお買い上げ下さいましてありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みの上、正しくお使いください。また、この取扱説明書は大切に保管してください。

■安全上の注意

- ⚠ **注意** ●カウンターに足をかける、乗る、座るといったことをしないでください。滑ったり、カウンターが外れてケガをする恐れがあります。
●カウンター本体に強い衝撃を与えないようにしてください。破損したり、ヒビが入ったりして、ケガをする恐れがあります。

■使用上の注意

- ⚠ **注意** ●直射日光が当たる場所への設置は避けてください。変色や変形の原因になります。
●カミソリの刃やヘアピン等、錆びやすいものを放置しないでください。錆びが付着して取れなくなる原因となります。
●油や有機溶剤(ベンジン、シンナー、アルコール、除光液)は使用しないでください。付着したままにしておくと、変色、劣化の原因となります。
●毛染め液、マニキュア、口紅など染色・着色を目的とする用具を放置しないでください。これらが付着すると元に戻すことができません。
●ドライヤーやストーブなどの熱を直接当てないでください。反りや変形の原因となります。
●耐荷重は**10kg**です。棚に置くものの合計が**10kg**を超えないようにしてください。



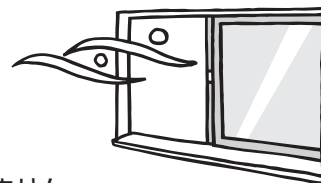
■お手入れ方法

- お手入れの際、次のものは使用しないでください。
- ・酸性、アルカリ性、油性洗剤、有機溶剤、カビ取り剤、塩素系の洗剤類
 - ・ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール、漂白剤
 - ・磨き粉とった研磨剤やクレンザーなどの研磨剤を含んだ洗剤
 - ・メラミンスポンジといった研磨スポンジやサンドペーパーなど粒子の粗い研磨剤やタワシ
- 汚れは中性洗剤をスポンジや柔らかい布につけてふいてください。その後、十分に水拭きしてから乾いた布で水分を拭き取ってください。洗剤が残っていると変色等の原因になります。



■おそうじのポイント

- 入浴後の早めのおそうじ
まだ濡れているうちに手早く汚れを落とし、汚れをためないことを習慣にしましょう。水性の汚れ(石鹼や皮脂など)は乾いてしまうと頑固な汚れの原因となります。
- こまめな換気
入浴後に換気扇を回す、窓を開けるなどの換気を行い、十分に乾燥させましょう。カビは湿気を好みます。カビはお風呂掃除の最大の敵であり、容易に取り除くことができません。

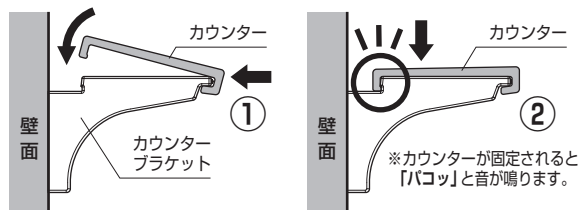


■取付けのポイント

- ①②の手順でカウンターの前後に注意し、カウンターブラケットにはめ込み取付けます。また、外す場合は、この逆の手順となります。

手順①前方のコの字形状部分を引っ掛け、ブラケットに乗せます。
手順②カウンター奥側を上から押さえ込みはめ込んでください。

※はめ込む際に、ブラケットに対してカウンターが左右均等になるようにしてください。



●お問合せ